

安全データシート

改訂日 2015/12/07

1. 化学品及び会社情報

製品名 : 酸化イットリウム
会社名 : チカモチ純薬株式会社
住 所 : 大阪市北区大淀南1-9-16(山彦ビル)
担当部門 : 営業部門
電話番号 : 06-6453-2062
FAX番号 : 06-6453-2063

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

可燃性固体 : 区分外
自然発火性固体 : 区分外
自己発熱性化学品 : 区分外
酸化性固体 : 区分外

健康に対する有害性

特定標的臓器/全身毒性(単回暴露)
: 区分2



絵表示またはシンボル

注意喚起語 : 警告
危険有害性情報 : 肺の障害のおそれ。
注意書き
安全対策 : 粉じん、ミスト、蒸気などを吸入しない。
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしない。
取扱い後はよく手を洗う。
救急処置 : 暴露した場合: 医師の処置を受ける。
保管 : 施錠して保管する。
廃棄 : 内容物や容器は関係法令に基づき適正に処理する。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別	: 単一製品
化学名又は一般名	: 酸化イットリウム
成分及び含有量	: 酸化イットリウム 99.99%以上
化学特性(示性式)	: Y ₂ O ₃
官報公示整理番号	
化審法	: 1-560
安衛法	: 公表
CAS No.	: 1314-36-9

4. 応急措置

吸入した場合 直ちに新鮮な空気のある場所に移し、鼻をかませ、うがいをさせる。

皮膚に付着した場合 直ちに付着部を多量の水で十分に洗い流す。

目に入った場合 直ちに流水で十分に洗い流す。

飲み込んだ場合 直ちに水または食塩水を飲ませて吐かせる。必要に応じて医師の処置を受ける。

5. 火災時の措置

消火剤 この製品自体は、燃焼しない。

使ってはならない消火剤 特になし。

特定の消火方法 速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合は容器および周囲に散水して冷却する。

消火を行う者の保護 消火作業の際は、必ず保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

作業の際は適切な保護具を着用し、飛散したものが皮膚に付着したり、粉塵を吸入しないようにする。風上から作業し、風下の人を退避させる。

回収、中和 飛散したものは掃き集めて空容器に回収する。飛散した場所は水で十分に洗い流す。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 皮膚に付いたり、粉塵を吸入しないように必要に応じ適切な保護具を使用する。

保管

適切な保管条件 容器は密栓して冷暗所に保管する。

安全な容器包装材料 ガラス、ポリエチレン、ポリプロピレンなど。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策 取扱いについては、できるだけ密閉された装置、機器または局所排気装置を使用する。

管理濃度 設定されていない。

許容濃度

日本産業衛生学会(2009年度版) 設定されていない。

ACGIH(2009年度版) 1mg/m³(イットリウムとして)(TLV-TWA)

保護具

呼吸器用の保 防じんマスク

手の保護具 不浸透性保護手袋

眼の保護具 ゴーグル型保護眼鏡

9. 物理的及び化学的性質

形状 粉末

色 白色

臭い 無臭

沸点 4300°C

融点 2410°C

密度 4.84g/mL(20°C)

溶解性

溶媒に対する溶解性 水 不溶

10. 安定性及び反応性

安定性 : 通常条件で安定である。

11. 有害性情報

急性毒性

経口 データ不足のため分類できない。

経皮 データ不足のため分類できない。

吸入(粉塵・ミスト) データ不足のため分類できない。

ラット 腹腔内注射 LD50=500mg/kg

皮膚腐食性・刺激性 データ不足のため分類できない。

眼に対する重篤な損傷・刺激性 データ不足のため分類できない。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

呼吸器感作性	データ不足のため分類できない。
皮膚感作性	データ不足のため分類できない。
生殖細胞変異原性	データ不足のため分類できない。
発がん性	データ不足のため分類できない。
生殖毒性	データ不足のため分類できない。

特定標的臓器・全身毒性－単回暴露

肺の障害のおそれ(区分2)

動物において希土類金属への吸入暴露は、肺に炎症を起こすとの記述があり、酸化イットリウムへの吸入暴露は肺への局所刺激により炎症を起こすと考えられ、区分2(肺)とした。

特定標的臓器・全身毒性－反復暴露	データ不足のため分類できない。
吸引性呼吸器有害性	データ不足のため分類できない。

12. 環境影響情報

生態毒性

魚毒性	水生毒性(急性)	データ不足のため分類できない。
	水生毒性(慢性)	データ不足のため分類できない。
残留性／分解性		微生物などによる分解性はない。
生態蓄積性		データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	土中に埋立処理を行う。または、都道府県知事の許可を得た廃棄物処理業者に委託処理をする。
-------	---------------------------------------------

14. 輸送上の注意

国内規制	適用法令なし。
国連分類	分類基準に該当しない。

輸送の特定の安全対策及び条件

輸送に際しては直射日光を避け、容器の漏れのないことを確かめ、落下、転倒、損傷がないように積み込み荷くずれの防止を確実にを行う。

15. 適用法令

化学物質管理促進法	非該当
毒物及び劇物取締法	非該当

労働安全衛生法 法第57条の2(令第18条2)名称等を通知すべき
危険物及び有害物(政令第54号)

16. その他の情報

引用文献 Dangerous Properties of Industrial Materials,6th ed. N.I.Sax他編
Van Nostrand Reinhold Company(1984)
15710の化学商品、化学工業日報社(2010)
国際化学物質安全性カード(ICSC)日本語版、化学工業日報社(1992)

コメント

この安全データシート(SDS)は、JISZ7253:2012 に準じており、記載されている内容は、発行時点において、入手可能な情報・データに基づいて作成していません。運搬・開封から廃棄に至るまで、安全を最優先に、ご自身の責任においてご使用下さい。また、ここでの注意事項は通常の手配り方をすることを前提に記載しており、他の製品と混ぜ合わすなどの特殊な取扱い方法は想定していません。その際は、使用環境に適した安全対策を自ら実施し、安全確保の上、ご利用下さい。なお、全ての製品には、未知の危険性を有する可能性があります。新たな知見が得られた時は、許可無く変更する場合があります。また、物性値や危険有害性情報などは、弊社製品規格書等とは異なることもありますが、いかなる保証をなすものでもありません。